

北海道ゼロカーボンパークシンポジウムin阿寒湖



阿寒摩周国立公園（阿寒湖温泉） におけるゼロカーボンパーク 登録の概要

釧路市阿寒町行政センター市民課 森 昌弘

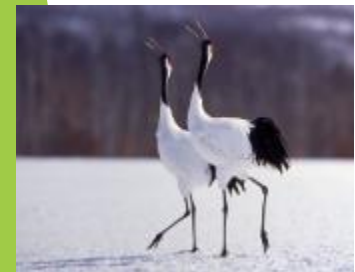
2023年1月31日



ゼロカーボンパーク登録への背景



- ▶ 平成28年7月 国立公園満喫プロジェクト選定
- ▶ 令和2年10月 2050年カーボンニュートラル宣言
- ▶ 令和3年2月 釧路市ゼロカーボンシティ宣言
- ▶ 令和3年3月 第2次釧路市環境基本計画策定
- ▶ **令和3年3月 環境省がゼロカーボンパーク制度を開始**
- ▶ 令和4年3月18日 釧路市（阿寒湖温泉）が道内第1号（全国第4号）として登録
- ▶ 令和4年6月27日 弟子屈町、美幌町、足寄町が追加登録。（※複数自治体の登録は全国初）



阿寒摩周国立公園・阿寒湖温泉（釧路市） のゼロカーボンパーク登録（全国第4号）

※令和4年3月18日時点

1. 阿寒湖温泉と阿寒摩周国立公園

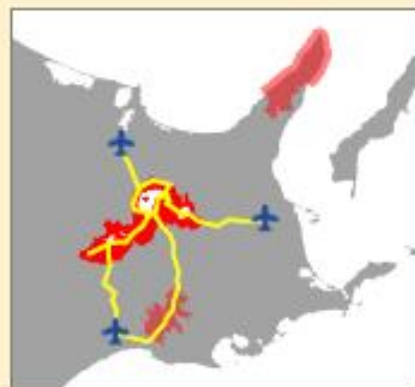
- ✓ 阿寒湖温泉（釧路市）は、阿寒摩周国立公園を代表する阿寒湖の湖畔に発展した、ひがし北海道屈指の温泉観光地
- ✓ 湖の周囲には原生的な森林が残されており、湖には国の特別天然記念物であり世界で唯一の大型球状マリモの群生地がある。
- ✓ 釧路市は、令和3年2月にゼロカーボンシティを表明



2. ゼロカーボンパークに向けた釧路市及び地域の取組

① トレイルネットワーク×ゼロカーボン観光の推進

- ・阿寒摩周国立公園では国立公園満喫プロジェクトの取組として、ひがし北海道3空港を結ぶ「阿寒摩周国立公園トレイルネットワーク」の構築を推進
- ・阿寒湖温泉で導入したE-bikeの活用も含め、ゼロカーボンの移動手段によるトレイル活用を推進





阿寒摩周国立公園・阿寒湖温泉（釧路市） のゼロカーボンパーク登録（全国第4号）

※令和4年3月18日時点

2. ゼロカーボンパークに向けた釧路市及び地域の取組

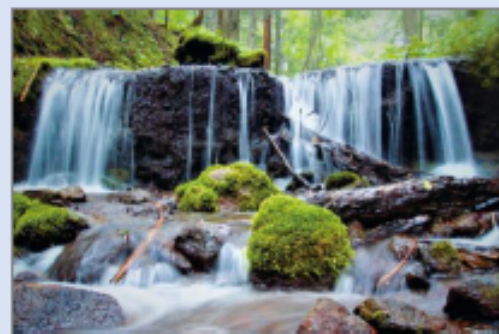
② 温泉熱利用設備の導入による省エネ推進

- ・阿寒湖温泉の宿泊施設及び釧路市の公共施設では、従来から温泉熱を利用した熱交換システムを導入しており、引き続き、暖房設備の省エネを図っていく
- ・令和4年度から整備する「（仮称）阿寒アイヌクラフトセンター」においても、温泉熱利用の導入を予定



③ 地元のおいしい水PRでペットボトルごみ削減

- ・地域内の観光施設、公共施設等に阿寒山系のおいしい水道水である「くしろ阿寒百年水」の給水スポットを設け、マイボトルの利用によるペットボトルごみの削減を推進

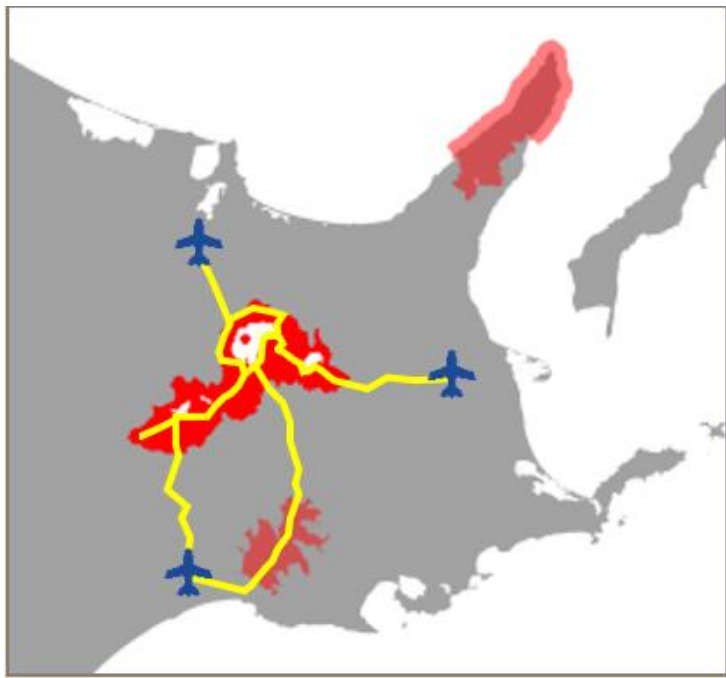


3. 環境省における対応

- ✓ 現地の地方環境事務所の伴走支援や、トレイルネットワークの推進、直轄施設への給水スポット設置等により市及び地域の脱炭素化の取組を後押し

阿寒湖温泉地区の取組

1. トレイルネットワーク×ゼロカーボン観光の推進



国立公園満喫プロジェクトによる
トレイルネットワーク構想



e-BIKEを使ったツアー

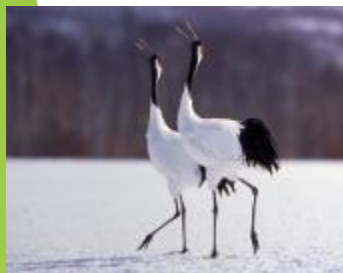


阿寒湖温泉地区の取組

2. 温泉熱利用設備の導入による省エネ推進



阿寒湖義務教育学校に設置した
ソーラーパネル



阿寒湖温泉地区の取組



3. 地元のおいしい水PRでペットボトルごみ削減



阿寒湖畔EMCの給水スポットとくしろ阿寒百年水の表示

猛禽類医学研究所が製作したマイボトルの販売



北海道を代表する猛禽類として知られる彼らは、

